

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 023	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 薬剤による高温登熟性向上の効果確認	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 水稻奨励品種である「キヌヒカリ」、「さとじまん」は出穂期以降の高温の影響を受けやすく、白未熟粒等による品質低下が課題となっている。近年、殺虫・殺菌のために使用する箱施薬剤等の中に登熟向上を目的とするものの開発が進められているため、その効果について検定を行っていただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 2 かながわ特産品等の生産に必要な農薬の実用化に関する試験研究 (4)新除草剤及び植物調節剤実用化試験		
対応の内容等	近年、「キヌヒカリ」において高温が原因と考えられる玄米品質の低下が問題となっております。登熟向上効果があるといわれている一部の薬剤について、本研究課題にて25年度に試験を行っております。成績については情報提供してまいります。		
解決予定年限	① <input type="checkbox"/> 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			